



# 懸け橋

練馬区立石神井西中学校  
学校だより 第6号  
平成27年10月21日  
校長 松丸 晴美

## 「未来への夢や目標をもって学びたい」

今年の入学式で「夢の扉を開くのはあなたです。」と話してから半年が過ぎました。

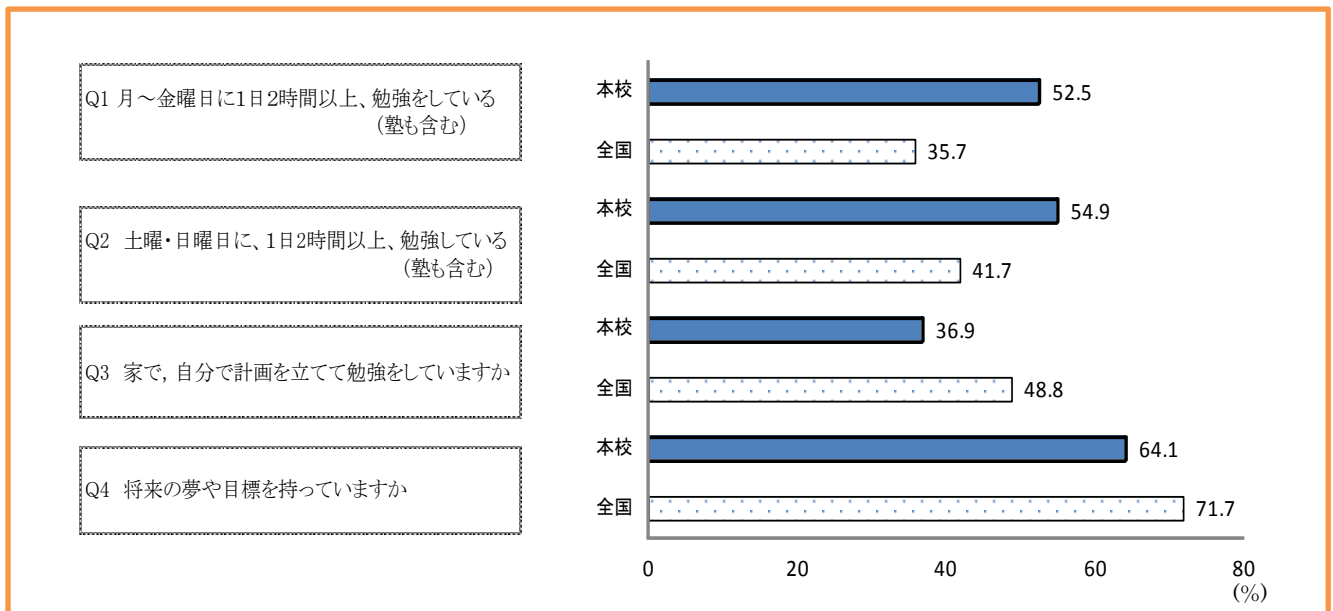
先日の合唱コンクールの素晴らしい発表の姿を通して、着実に生徒達が成長してきたことを実感した秋です。

前期終業式前には、昨年に引き続き、日本人ノーベル賞受賞者に二人も決定したニュースやラグビーワールドカップ、イングランド大会で日本代表が初の1大会3勝をあげるという快挙に日本中が沸き立ったことは記憶に新しいです。

ノーベル賞受賞が決定した北里大学特別栄誉教授の大村 智先生も、東京大学宇宙線研究所所長の梶田 隆章先生も、そしてラグビー日本代表チームのメンバーも、分野は違えど、今日まで、夢や目標をもってたゆまぬ努力を続けてきたことは共通していることと思います。

翻って、本校の生徒達は自分の夢の扉を開き、その先に続く長い道のりをしっかりと歩んでいるでしょうか？

今年4月、3年生で実施した全国学力・学習状況調査の生徒質問調査の結果を見ると、少し残念な傾向があることがわかりました。



調査からは、月曜から金曜日までの平日も休日も、平均して2時間以上、家庭や塾などで勉強している本校の生徒は、全国の中学生に比べて割合が高いことがわかります。

しかし、「自分で計画を立てて勉強している」「将来の夢や目標を持っている」生徒は、全国に比べて少ないという実態も浮かび上がってきました。これは、自分の夢や目標に向かって勉強するというより、「勉強させられている」と感じている生徒が多いというこ

となのでしょうか？もちろん、勉強が好きという生徒は少ないかもしれませんが、高校入試のためだけに勉強をするのでは、ちょっと淋しい気持ちがします。何かひとつでも将来の夢や目標を描き、希望をもって主体的に学びたいものです。同時に「自由と自治」の精神を学習面でも発揮し、自分で家庭学習計画を立て、怠けようとする自分の気持ちを律しながら、根気強く学習に取り組む生徒になってほしいと願っています。

平成27年度 第2学年東京都児童・生徒の学力向上を図るための調査

教科	A 教科の内容		B 読み解く力に関する内容		AとBの合計	
	石西中	東京都	石西中	東京都	石西中	東京都
国語	62.9%	58.4%	35.0%	30.7%	58.7%	54.3%
社会	59.3%	54.1%	56.1%	47.1%	58.7%	52.7%
数学	64.0%	58.3%	57.9%	52.3%	62.8%	57.0%
理科	62.7%	55.2%	38.7%	35.9%	56.2%	50.0%
英語	71.7%	64.5%	50.2%	41.7%	67.1%	59.6%

教科	学力調査の課題分析	具体的な授業改善策
国語	○教科の内容、及び読み解く内容ともに、都の平均を4ポイント程度上回っている。しかし、内容では書く力が、読み解く力では、読み取り解決する力がやや不足していると思われる。興味関心や取り出す力は、10ポイントも高いので、他の内容とのつながりを密にした授業改善が必要である。	○漢字や文法などの基礎基本の定着をこれまで以上に図っていく。 ○キーワードを使って要約したり、自分の言葉で説明したりする機会を多く設け、協同学習による学習で理解を深めさせる。 ○ワークシートの活用をさせ、自己の理解度を振り返らせ、読解力を高める。
社会	○平成27年度の学力調査の結果より、読み解く力については東京都平均を9ポイント上回っており、着実に力が定着している様子が読み取れる。一方、教科の内容については、東京都平均5.2ポイント上回っているものの、60%に達していないので、基礎的な知識の定着を図るため、基礎知識を身に付ける学習を取り入れることが課題である。	○生徒の発達段階を考慮し、解りやすい発問の仕方を心がける。 ○大きい絵資料や地図資料を準備し、視覚で理解する工夫をする。 ○机間巡視や授業内テストを行い、生徒の理解度や生徒一人一人の実態を把握する。
数学	○教科の内容および読み解く力に関する内容ともに、5～6ポイント程度上回っている。内容でも表現・技能・知識すべての分野において、都の平均を4～8ポイント上回っているが、関心・意欲・態度の分野において都の平均を下回っている。興味、関心を持たせられる授業を展開していく必要がある。	○基礎・基本を大切にし、一人一人の生徒が意欲的に取り組める指導を行っていく。 ○実生活に即した教材を取り上げることにより、より具体的な問題として理解を深めさせる。 ○ワークなどを利用し、反復練習の重要性に気づかせていく。
理科	○調査を分析すると、教科の内容ならびに読み解く力に関する内容ともに都の平均を6～10ポイント上回っており、概ね満足のいく結果となった。その中で「思考・判断・表現」の能力が不足気味であることが明らかになった。また、「読み取る力」について都の平均をわずかに下回り、この能力の改善・向上が2年生の課題であることも明らかになった。	○これまで以上に観察・実験の時間を重視して、その結果の分析をレポートにまとめるなどして科学的な思考・判断力の向上を図る。また、観察・実験における初期条件の設定から結果のまとめまでの練習を繰り返し、読み取る能力を向上させると共に、自然現象に対する知識・理解を深める指導を行う。
英語	○教科の内容ならびに読み解く力に関する内容ともに、都の平均を7～9ポイント上回っており、特に、教科の内容の知識・理解の分野については、約10ポイント上回っていた。その一方で、Aでは外国語表現、Bでは読み取る力、解決する力など、表から読み取ったり、情報をまとめていく問題では正答率が低かった問題もあった。これらを課題とし、授業内容を改善していきたい。	○基礎的基本的な力を定着させることを大切に、コミュニケーションに関わる表現能力の向上を図る。 ○催し物のポスターやタイムスケジュールなど、図や表で提示されている情報の中から必要な情報を正確に取り出したり、関連づけさせて問題を解決させるなど、様々な形式の課題に取り組み、読み取る力や解決する力を身につけさせる。

平成27年度 第3学年全国学力・学習状況調査結果

平均正答率	国語 A 主として 知識	国語 B 主として 活用	数学 A 主として 知識	数学 B 主として 活用	理科
本校	80.6	69.1	69.9	47.8	54.4
東京都平均	77.2	67.0	66.3	44.0	52.5
全国平均	75.8	65.8	64.4	41.6	53.0

平成27年度 第3学年練馬区学力調査結果

平均正答率	社会	英語
本校	54.5	76.2
練馬区平均	52.8	71.0
全国平均	55.1	66.0

教科	学力調査の課題分析	具体的な授業改善策
国語	全国学力・学習状況調査では、全ての領域・観点において、都及び全国の平均正答率を上回っている。ただ、個々の設問に目を向けると、知識の活用を求められる論理的な読解の部分で、都平均を下回るものもみられた。	読解問題に解答するだけでなく、文章を読んで自分の言葉で要旨を説明したり、筆者の考え方に対する自らの意見を述べたりする活動を取り入れていく。
社会	地理的分野 ○日本のことについてはある程度の知識理解をしているが、世界の問題についての理解が弱い。また地域学習については、理解が深まっていない。 歴史的分野 ○中世・近世についてはある程度理解できているが、明治以降の近現代史の理解が弱く、政治についての関心薄いようである。	地理 ○地域学習は小学校中学年で、世界については中学1年でおこない、間があいてしまった。副教材「わたしたちの練馬」などを使い、3年次に繰り返しの学習をおこなう。 歴史 ○明治以降の近現代史について資料を交えて丁寧に学習していく。
数学	全ての領域、観点において、都および全国の平均正答率を上回り、「数学的な技能」に関しても、おおむね満足のいく結果であった。ただ、空間図形においては、平均点を下回った設問も見られた。図形に関する知識の確実な定着と、活用する力の向上が課題である。	空間における直線や平面の位置関係を確認できるよう、立体図形を書いたり、身近な立体に触れたりさせる。また、基本的な計算を確実に解けるよう、反復練習を継続的に行い、さらなる定着を図っていく。
理科	本校の平均正答率は全国、および都の平均を上回る結果であり、全体としてはおおむね良好である。しかし領域別では、物理領域での正答率が特に低く、改善が必要である。また、記述式の問題の一部において、無回答である割合が高いため改善が必要である。	物理領域の改善については、観察・実験によって得られた結果から、規則性や法則性を見いださせる授業の回数をさらに増やす。また、日常生活と関連性のある物理問題を解かせ、公式がどのように適用できるのかを説明する。定期テストやワークシートにおいて、記述する部分を増やす。
英語	学力調査においては、全ての内容、領域についておおむね良好であったが「聞くこと」、「読むこと」の領域で、校内正答率が目標値よりもやや低めの項目が2カ所あった。 この項目における問題の内容は「リスニング（対話文の応答）」と「語形・語法の知識、理解」であった。	「聞くこと」では、図やグラフを読み取るなど様々な形式の問題に取り組む。「読むこと」では、既習の語句・語法の充実を図り、基礎を活用させた総合的な応用問題に対応する力を育成する。

## 【すばらしい歌声が響いた合唱コンクール】

文化的行事委員 主任教諭 田中 俊文

10月10日(土)、平成27年度合唱コンクールが開催されました。「響け!! 夢と希望の石西ハーモニー」というスローガンの通り、生徒たちは練習の成果を発揮して、すばらしい合唱を体育館一杯に響かせてくれました。当日は、声楽家の宮地恵理先生をゲストにお招きしたのですが、その先生からも「1年生はさすがにいい歌声でした。重みを増してきた2年生の歌声からは、3年生へ向けての心構えが感じられました。最後の合唱コンクールにむけて心一つに努力してきた3年生の歌声には、一語一語、一音一音に説得力がありました。」という高い評価をいただくことができました。さらに、合唱同好会は、NHK全国学校音楽コンクールでも披露した、SEKAI NO OWARIの「プレゼント」を美しい歌声で届けてくれました。

思い返せば、生徒たちは夏休みの前から合唱コンクールに向けて努力を積み重ね、準備を進めてくれました。実行委員の皆さんは、行事全体の成功に向けて尽力するとともに、各クラスを中心に指揮を取り、大活躍してくれました。指揮・伴奏者やイメージ画制作者たちは、夏休み中にも登校し、練習に励んだり、イメージ画を作成したりしてくれました。その他にも、準備や片づけに積極的に取り組んでくれたり、放送・照明機器を効果的に扱ってくれたり、素敵な看板を作ってくれたり、多くの生徒が活躍してくれました。前日の夜、各教室をのぞいてみると、黒板一杯に合唱コンクールに対する思いが書かれていたり、一人ひとりに宛てられた心のこもった手紙が書かれていたり、行事に対する意気込みの高さと、仲間との絆の深さが感じられて、胸が熱くなりました。そして、何よりも、生徒一人一人の「がんばり」が一つになって、すばらしい合唱が作り上げられたのだと思います。

「一生懸命に取り組み、皆で楽しもうと頑張ってきました。皆で工夫して合唱を作り上げるのはとても楽しかったです。多くの人にとって思い出に残る合唱コンクールになったのなら、うれしいです。来年、後輩たちが今年よりも、さらに笑顔が増える行事にしてくれることを期待しています。」という、実行委員長の言葉も、とても心に響きました。本当によい合唱コンクールになったと思います。感動をどうもありがとうございました。

最後になりましたが、保護者の方々や地域の皆さまにも、大勢ご参観いただき、ご協力をいただくことができました。生徒たちにとっても大きな励みになったと思います。どうもありがとうございました。今後とも、どうぞよろしくお願いいたします。



3年F組 (金賞)

『大地讃頌』／『虹』



3年E組 (銀賞)

『大地讃頌』／『言葉にすれば』



2年D組 (金賞)

『生命が羽ばたくとき』／『My Own Road』



2年B組 (銀賞)

『生命が羽ばたくとき』／『fight』



1年B組 (金賞)

『夢の世界を』／『マイバラード』



1年A組 (銀賞)

『夢の世界を』／『変わらないもの』



## 【歌を彩る「合唱コンクール」イメージ画】

文科的行事委員長 主任教諭 志村 美智子

イメージ画の「コンクール」ということで、2年生や3年生が慣れていたせいもありますが、昨年よりも多くの方が鑑賞してくれていたように思います。投票も真剣に取り組んでいました。それも、やはり制作者たちが真剣に描いていたせいでもあると思います。今年も、本当にすばらしいイメージ画が揃いました。特に、3年生は甲乙つけがたく、先生方も投票がむずかしいと嘆いていました。合唱コンクールの歌声と同じでイメージ画も、1年より2年、2年より3年とだんだん成長しているのが印象的でした。先輩から多くのことを学んだ合唱コンクールだったのではないのでしょうか。

### ○作者からの言葉

3年F組 (Good デザイン賞 ゴールド)

「虹」には、「出会い」というテーマがあり、3Fのクラスメイトと出会い、たくさんの思い出に色をつけていきました。そんな思い出に虹がかかるよう、3F新聞のとなりに虹を描きました。3F新聞には、実際の思い出が書かれています。出会った当時は色のない世界に、7ヶ月でどんな色に染まっていったのでしょうか。

3年C組 (Good デザイン賞 シルバー)

星の数は、クラスメイトの数です！先生は地球です。地球のまわりは下から過去、上にいくほど未来へとつながっています。キラキラさせたりもしました。工夫をぜひ見て下さい。

2年B組 (Good デザイン賞 ゴールド)

背景の天気は、気持ちが暗い雨から晴れて雨が上がり虹がかかり、悩みが消え去ったことをイメージしています。それと同時に、花も満開に描きました。見ている人が応援されているように感じてもらえるよう意識しました。また、絵の中の少女が未来の自分へも応援しているように描きました。皆さんに少しでもメッセージが伝われば幸いです。

2年A組 (Good デザイン賞 シルバー)

「君とみた海」は別れや悲しみがテーマなので、海を中心に思い出が、アルバムから写真として飛び出してくるようにしました。砂浜のところは、絵ではなく本当に砂をはってあるので見てみて下さい。

1年C組 (Good デザイン賞 ゴールド)

海はこの地球を表していて、空は世界を表しています。この絵は、それぞれが思ったままの明日を探してほしいという願いをこめて描きました。

1年A組 (Good デザイン賞 シルバー)

桜の季節は、出会いと別れを繰り返す季節です。女の子は出会いと別れを表しており、下にある手は別れたくない気持ちもありながら前へと進まなくてはいけないという葛藤を抱えながらも未来のために離れていきます。また、上の鳥は旅立ちを表しており、青空へと飛び立ち、女の子を希望に満ちた世界に導いていきます。

3F



3C



2B



2A



1C



1A

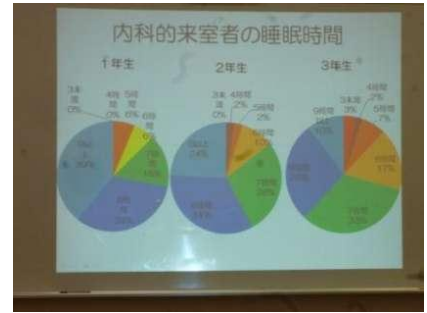


## 【第1回学校保健委員会 報告】

養護教諭 篠原 智美

9月30日に学校保健委員会を開催しました。お忙しい中参加いただいた保護者の方々、ありがとうございました。会では養護教諭から、定期健康診断の結果と保健室来室状況について話をしました。その後参加していただいた校医の先生方から、定期健康診断時の気づきや生徒の生活リズムについて助言をいただきました。（下記参照）

短い時間でしたが、保護者の方からの質問に校医の先生が答えていただき、思春期の健康面についてお話を伺うことができ、とても有意義な時間になりました。今年度末にも第二回学校保健委員会の開催を計画しております。ぜひ次回も多くの保護者の方々に参加していただけたらと思います。



校医の先生から

### ① 内科校医 田口先生より

- ・よく寝てよく食べるが健康の基本。成長期は中学生・高校生。この時期に成長ホルモンが出るが、真夜中にしか出ないのでこの時間に寝ていないと背が伸びない。
- ・思春期は身長と体重のバランスがアンバランスになりがち。一時的なものなら心配ないが、長くなるなら女子に多い拒食が心配。規則正しい生活で極度の肥満は防げる。

### ② 歯科校医 羅先生より

- ・むし歯は現在減りつつある傾向である。歯科検診時にあごが小さい生徒が増えた印象。あごが小さくなると歯並びに影響がでる。

### ③ 薬剤師 井上先生より

- ・乾燥が気になる季節これからなりますが、湿度50%程度でインフルエンザは死滅すると言われています。加湿に気をつけてください。

## 【未来の石西生との授業】

1年C組 担任 佐藤 由乃

小学校の授業を見ることはあっても、小学生を相手に授業を行うというのは初めての経験でした。初対面の教員との授業、また、5・6年生が一緒になっての合同クラスということもあり、お互いに少し緊張しながら、また新鮮な気持ちで臨んだ授業となりました。自己紹介と、中学校で習う社会科の説明は簡単に終わらせて、早速「新聞の見出しから、国の名前を見つけ出す。」という内容で授業を始めました。新鮮な雰囲気、普段とは違う授業ということもあり、子どもたちは積極的に作業に取り組んでいました。その中で最も強く感じたことは、“話し合いがとっても上手”ということでした。男女混合の、しかも5・6年生が混ざったグループで、とても上手に個が調べたことを、グループとしての一つの意見にまとめていました。中学生顔負けのグループワークでした。中学生になり、

学年が上がれば、当然話し合いや発表などのスキルもあがります。しかし一方で、思春期まっただなかで、周りの目を気にしたりして、自分の意見や思いを素直に、堂々と伝えることに抵抗を感じるようになります。小学生の時に身につけた技術をさらに向上させると同時に、身につけたことを人前で思いきり使える互いの人間関係のつくりかたも、中学校で学ぶべき大切なことだな・・・ということを、小学生とふれ合う中で感じました。

授業が長引き、チャイムが鳴り終わってからの数分間も、しっかりと話を聴いていた姿が印象的でした。また、教室の外で授業が終わるのを待っていた生徒たちの、この人はどんな話をしているのだろうというキラキラした目を、中学校に入学してからも持ち続けてもらえるように、授業力を磨かなければと、改めて決意させてもらえる貴重な場となりました。



### 【諸活動の記録】

○第53回練馬区中学校総合体育大会 陸上競技大会

男女総合 優勝 男子総合 4位 女子総合 優勝

〈男子の部〉

1年 100m 2位 高田玲音 12秒52、 3年 100m 2位 森脇一成 11秒75、  
 共通 200m 1位 西脇港斗 23秒56 4位 滝本航平 25秒25  
 共通 400m 2位 伊藤真基 54秒04、 共通 800m 6位 伊勢田翔 2分19秒10  
 3年 走高跳 2位 高久諒大 1m69  
 1年 4×100mR 6位 52秒09、共通 4×100mR 2位 46秒07

〈女子の部〉

2年 100m 4位 土屋くるみ 13秒66  
 3年 100m 3位 照沼美波 13秒79 5位 門間彩香里 13秒84  
 共通 200m 1位 熊木夏奈穂 26秒90  
 共通 800m 1位 窪田優菜 2分25秒11 2位 木澤七海 2分25秒44  
 1・2年 走高跳 1位 宮本愛未 1m41 2位 三好亜美 1m41  
 3年 走高跳 1位 濱中美結 1m50、 2年 走幅跳 1位 若佐日和 4m61  
 3年 走幅跳 3位 比呂裕子 4m56、 3年 砲丸投 高橋玲奈 10m91





○水泳

第 63 回東京都中学校学年別水泳競技大会  
3 年 女子 50m自由形 3 位 矢崎真衣

○男子バスケットボール部

区民大会 優勝

決勝トーナメント

1 回戦	石神井西中	1 2 8 対 3 3	谷原中
2 回戦	石神井西中	9 6 対 5 2	大泉桜中
準決勝	石神井西中	8 8 対 3 7	上石神井中
決勝	石神井西中	7 5 対 7 2	中村中

○女子バスケットボール部

区民大会 優勝

決勝トーナメント

1 回戦	石神井西中	9 8 対 3 2	大泉二中
2 回戦	石神井西中	7 2 対 3 8	中村中
準決勝	石神井西中	7 6 対 3 8	谷原中
決勝	石神井西中	8 3 対 2 0	光が丘三中

【顧問より】

○男子バドミントン部

練馬区新人大会

団体戦	1 回戦	石神井西中	2 対 0	開進四中
	2 回戦	石神井西中	0 対 2	大泉中

個人戦 シングルス ベスト 1 6 2 年 D 組 大和田海斗  
ダブルス ベスト 1 6 2 年 B 組 魚澄隼人 大澤友摩

【顧問より】あと 1 歩ブロック大会です。春に向けてさらなるステップアップを期待しています。

○女子バドミントン部

練馬区新人大会

団体戦	4 位	1 回戦	石神井西中	2 対 0	大泉西中
		2 回戦	石神井西中	2 対 1	石神井南中
		準々決勝	石神井西中	2 対 0	練馬東中
		準決勝	石神井西中	0 対 2	練馬中

個人戦 シングルス ベスト 4 2 年 A 組 松井美優  
ダブルス ベスト 1 6 2 年 B 組 大久保志帆 2 年 C 組 大倉弓佳

【顧問より】ノーシードからの勝ち上がり、よく頑張りました。さらに上のステージへ上がれるように頑張りましょう。

顧問より  
区民大会優勝を新人大会につなげていきたいです。

